

個人調査報告書（井戸設備及び水質検査補助）

日 時：令和7年5月19日(月)～20日(火)

場 所：薩摩川内市役所、八代市役所

○5月19日 薩摩川内市役所（水道局）

（テーマ） 飲用井戸等整備支援事業補助について

対応者：鹿児島県薩摩川内市水道局経営管理課 課長

担当

○5月20日(火)10時～11時30分 八代市役所（議会）

（テーマ） 飲用井戸水質検査補助について

対応者：熊本県八代市議会事務局 次長

環境部環境課 課長補佐

総務企画部危機管理課 課長補佐

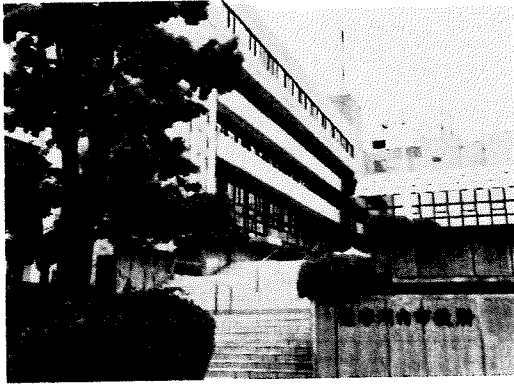
係長

（調査目的）

水道の重要性は、清潔な飲料水の供給によって健康な生活を送るための基本条件を確保するためであり、清潔な水の供給は、水による感染症の予防や健康増進に直結し、社会全体の福祉を向上させ、特に、乳幼児や高齢者などの健康に敏感な人々にとって、安全な飲料水の確保は生命線とも言えます。

そこで、今回の調査ですが、9年前の平成28年6月議会でこの件に関し、本市の考え方をお聞きした際、水道水が給水されていない地域での井戸整備補助対応に関しては今後の検討課題としたため、実施されてる他市の状況を調査し、再度、一般質問の資料とするものです。

はじめに、(テーマ) 飲用井戸等整備支援事業補助についての報告です。



薩摩川内市役所 (水道局にて)



(調査応答)

薩摩川内市では、飲用水道水が給水されている計画給水区域内の整備率は99%と整備されおり、未整備地区の世帯数は約400~500世帯で井戸水による生活をされているとのことでした。

そこで、井戸等整備支援事業についてお聞きしました。

1. (創設年度) 平成30年4月1日
2. (創設理由) 生活をするうえで必要とされる飲用水であること。また、人口減少により未整備地区の過疎化をとどめるためにも、水道の給水区

新規に設置されないことを含め検討の余地はあるようです。

次に、(テーマ) 飲用井戸水質検査補助についてです。(八代市)

八代市は、干拓事業の歴史のまちでもあり、広大な平野があることから、地下水の豊富なまちです。そのため、飲用水道水が給水されている給水区域内の人口は全人口：116,742 人の約 50%の約 58,000 人で、整備率は 69.9%と約 17,000 人の方は井戸水による生活をされていました。それだけ、地下水が豊富だと言うことです。



(八代市：調査応答)

しかし、ここ八代市は工場地帯であったことから、平成 10 年にヒ素の検出があったことと、熊本県地下水保全条例により地下水の水質及び保全を特に図る必要がある地域と指定されていることから、地下水のモニタリング調査を定期的にされ、飲用水の安全性を確保し、健康の保持を図るため自主的に水質検査を行

うものに対し、その費用の一部を平成 16 年 4 月より補助されていました。

市民の方が検査される水質項目は基本 11 項目で、費用は約 7,000 円となり、補助対象となる項目がひとつあるため、補助額は 1,000 円となっています。

- ・補助対象となる物質に対して 1 項目につき 1,000 円の補助（指定物質：7）
- ・補助額は指定物質 1 項目につき 1,000 円
- ・補助回数は 1 井戸につき各年度 2 回を限度

となっていますが、近年の実績は R 5：10 件、R 6：12 件と井戸水の対象者が多いにもかかわらず利用頻度が少ないことがうかがわれました。

また、汚染が確認された場合は、飲用水を浄化するための浄水器を設置するものに対して、その費用の一部についても制度を設けられていました。

（補助額：20 万円を限度とし、浄水器の購入と設置費用の 3 分の 2）

それと、近年、災害時における井戸水の利用が可能とあるように防災井戸としての協力井戸の取組もされておられましたので、お聞きしました。

以上のことに関していろいろとお聞きをさせていただきましたが、市としての環境は違いますが、市民の命と健康を守るためにも地下水を利用せざるを得ない市民に対し、市の義務として補助制度の設置を早急にすべきと改めて感じました。今回の視察も含め、他市の状況をしっかりと本市に認識していただき、本市での補助制度を確立していただけるよに活動をします。